

平成 25 年 10 月 21 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

「新生インベスコ・バンクローン・ファンド(適格機関投資家限定)」の販売開始について ～バンクローンを投資対象とする私募投資信託を新生インベストメント・マネジメントで設定～

当行は、米国のインベスコ・リミテッド(Invesco Ltd.、以下「インベスコ」)の日本法人であるインベスコ投信投資顧問株式会社(東京都港区、代表取締役社長兼 CEO 佐藤秀樹)と連携し、主として米国バンクローンに投資を行う私募投資信託の金融機関向け販売を開始いたしました。

今回販売する商品は、追加型私募投資信託「新生インベスコ・バンクローン・ファンド(適格機関投資家限定)」(以下、「当ファンド」)で、新生インベストメント・マネジメント株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 吉田浩一)が平成 25 年 9 月 30 日に円建てで設定しました。

当ファンドは、主として米国またはカナダの企業向けバンクローンなどを実質的な投資対象とします。バンクローンのパフォーマンスは過去 10 年のデータによれば日本国債の値動きに対してマイナスの相関にあり、当ファンドに投資することで安定的な配当収入を目指すと同時に、金利上昇時のポートフォリオにおける価格変動リスクを抑制する効果が期待されます。当ファンドのその他の主な特長については、下記の当ファンドの特長をご参照ください。

金融機関の私募投資信託などに対する運用ニーズは、リーマン・ショックに伴う世界的な金融危機の影響や自己資本比率規制強化の影響などを受けて一旦後退していましたが、一方で、運用対象が日本国債に偏るなどの課題が生じています。このため、当行では、今後も順次新ファンドを投入し、地域金融機関や保険会社などの大手金融機関へのソリューション提供を強化してまいります。

【当ファンドの特長】

1. 当ファンドは、インベスコのグループ会社であるインベスコ・シニア・セキュアード・マネジメント・インク(Invesco Senior Secured Management Inc)が運用を行うルクセンブルグ籍外国投資信託「Invesco Zodiac Funds」受益証券を通じて、主に米国またはカナダの企業向けバンクローンなどに投資を行います。
2. バンクローンのパフォーマンスは、過去 10 年のデータによれば日本国債の値動きに対してマイナス相関を有しています。また、LIBOR(London Inter-Bank Offer Rate)ベースの変動金利ローンが中心であるため、金利上昇時には機関投資家のポートフォリオの価格変動を抑制する効果が期待されます。
3. 前述のインベスコのルクセンブルグ籍外国投資信託の利回りは 2013 年 8 月末時点で 4%台後半(米ドルベース・国内投信の手数料控除前)[※]となっており、国債等と比較して魅力的な配当収入が期待されます。
4. バンクローンは一般に投資適格未満ですが、基本的に第一順位の担保で保全されており、過去の損失率(クレジット・ロス)は僅少です。また、前述のインベスコのルクセンブルグ籍外国投資信託は多くの銘柄に分散投資を行うことで(2013 年 9 月末時点で約 600 銘柄[※])、クレジットリスクの分散を図ります。

※ 出所: Invesco Senior Secured Management Inc

以上